

北九州市立大学地域共生教育センター (421Lab.)

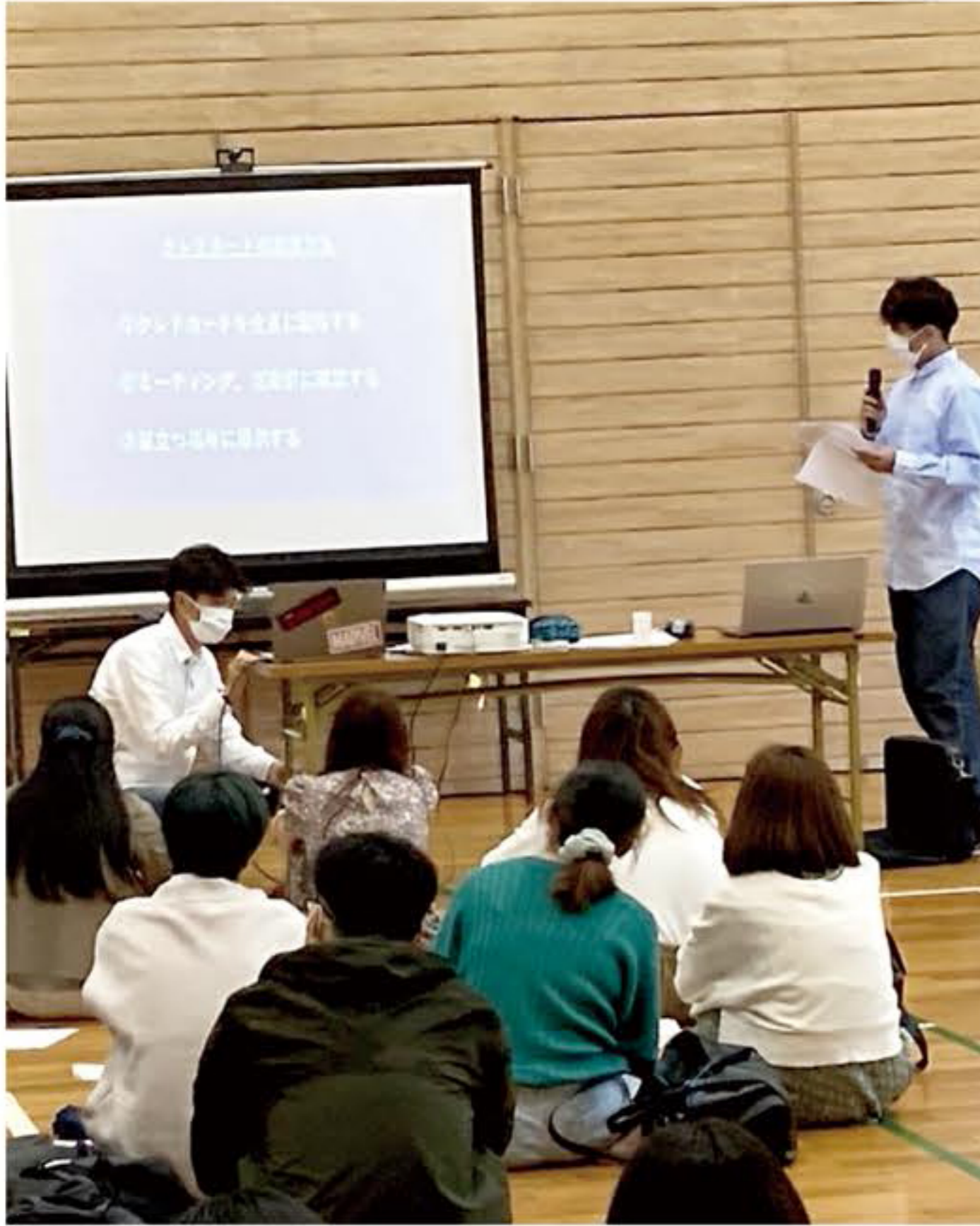
FULL

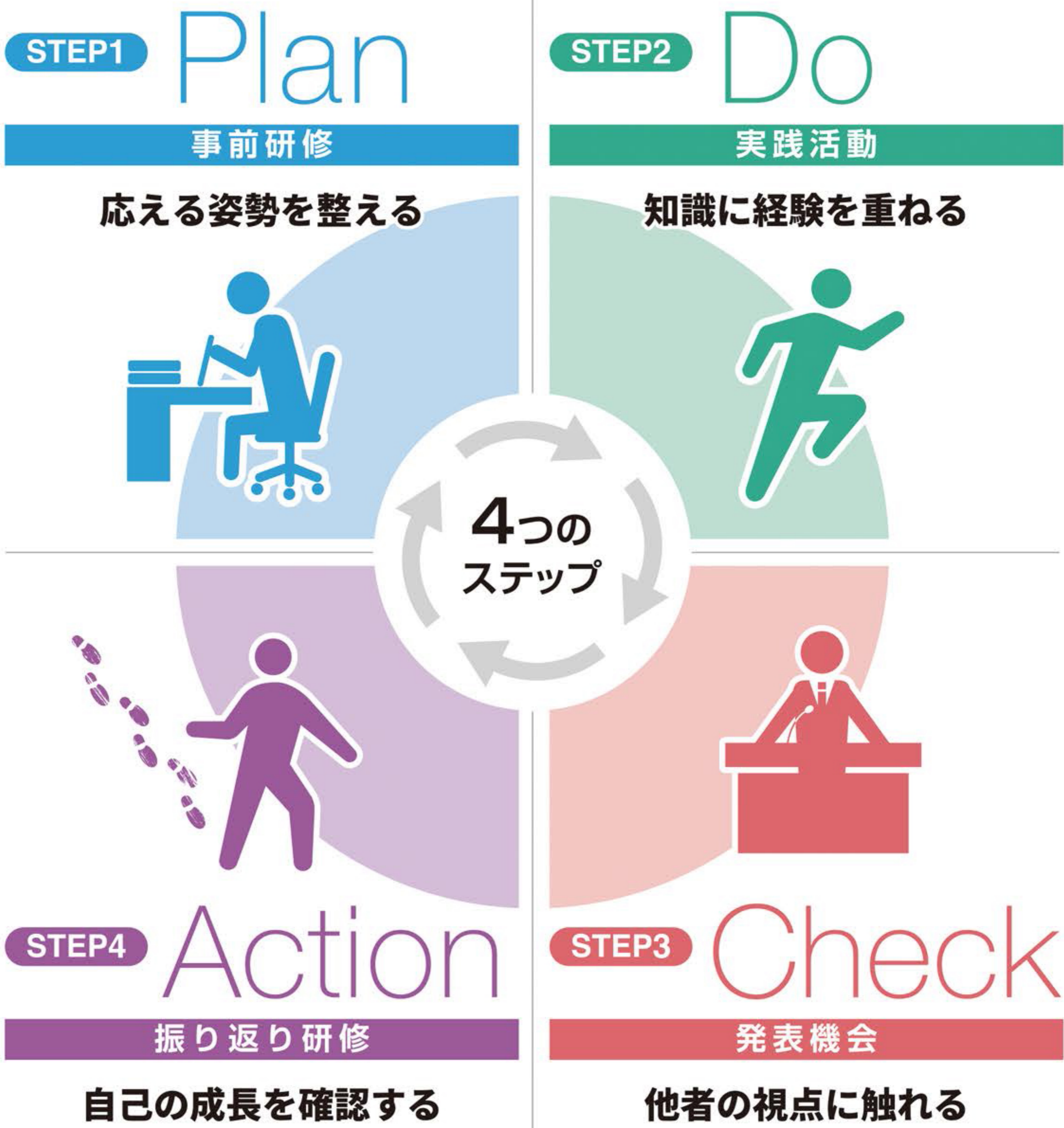
[フル]

2023年度
.....
Vol.16

地域につながる。自分をひろげる。

421 Lab.
北九州市立大学 地域共生教育センター
Regional Symbiosis Education Center





「何を考えるか」から「何を学びとるか」へ

近年、学修のカタチが変化し、教員が一方に教える講義スタイルから、社会現場での体験活動に主を置いた実習スタイルが増えてきました。421Lab.でも、商店街の活性化や自然環境の保全、伝統文化の継承などの実社会にある身近な課題をテーマとして、専門分野を超えて課題解決に向けた連携が進んでいます。

しかしながら、一般的な実習スタイルでは「体験すること」が目的となりがちであり、本来のねらいである「教育」からずれてしまうこともあります。

421Lab.では、「事前研修」、「実践活動」、「発表機会」、「振り返り研修」というPDCAサイクルを回すことで、学生自身が何を学びとるかを考え、確実に成長するプログラムを備えています。地域活動にかかわった学生が取り組んだ課題に興味を持ち、卒業後の進路につながったり、活動で達成できなかった部分を自分の課題として向き合ったりしていくことにつながります。

体験するだけで終わるのではなく、学生が「体験を通して学びとる」ことに注力し、学生の成長を応援しています。

・災害時緊急支援チーム・

災害発生時には行政や社会福祉協議会からのボランティア要請に迅速に応え、災害ボランティアセンター(通称:災害VC)の運営等に携わります。

おもな活動内容 ・年に1度研修を行います

発行 北九州市立大学地域共生教育センター
発行年 2023年3月
協力 プロジェクトに参加いただいている多くの皆さま



421Lab. メールに登録して最新情報をGET!
info421@kitakyu-u.ac.jp

421Lab.学生運営スタッフ

地域と学生の架け橋



地域共生教育センター(通称:421Lab.)は、学生の力を必要とする地域と、地域貢献に興味・関心のある学生を繋ぐ「懸け橋」のような役割を担っています。421Lab.学生運営スタッフは、北方キャンパスすべての学部・学群生に地域活動を通して貴重な学びを得てもらうために、「地域活動魅力発信」と「活動しやすい環境を整える」という2つの目標のもと、どうすれば学生や地域のニーズに応えることができるかを考えながら、日々活動に取り組んでいます。

- ◆プロジェクト人数 21名
- ◆活動開始時期 2010年4月～
- ◆活動頻度
全体会：週に1回程度(火曜1限)
各グループでの活動：週1回程度
- ◆連携・受入団体
北九州市内の行政機関
民間組織、団体など
- ◆主な活動場所
地域共生教育センター(421Lab.)
及び市内各所

421Lab.学生運営スタッフは3つのグループで活動しています



大学・地域支援グループ

大学・地域支援グループは、本学と地域の発展をサポートするための企画立案やイベント開催等を行っています。学部・学群生はもちろん、小学生から高校生まで様々な世代と交流するため、場面に合ったコミュニケーション方法を学んだり、イベントを行う中で企画運営能力などを身につけたりすることができます。また、学内のイベントでは421Lab.の活動紹介を行っています。



Lab. 支援グループ

Lab.支援グループは、421Lab.全体の運営をサポートするグループです。主に広報誌やSNS等で、学生の興味や関心、他のプロジェクトの刺激になるような活動を発信しています。今年度は、マナー講座やデザイン講座等を開催し、学生運営スタッフが活動するうえで必要な知識や技術を提供しました。421Lab.とプロジェクトの活動発信や魅力発信に加え、それぞれの活動が円滑になるようにサポートをすることも私たちの活動の一つです。



プロジェクト支援グループ

プロジェクト支援グループは、421Lab.の学生プロジェクトが活動しやすくなるように交流会などを開いてサポートをしています。プロジェクトの目的や課題を明確にする研修や講座、また他のプロジェクトとの交流会などを年間を通じて開催しています。今年は礼儀作法や資金調達方法といったプロジェクトメンバーのスキルアップに直結する企画も実施しました。

北九州文化観光プロジェクト

北九州市の文化観光を学生視点でプロデュースしよう！



北九州市ではミュージアムなどの施設を拠点に文化観光を推進していますが、文化資源の発掘、活用方策、連携による価値創出は十分とは言えません。当プロジェクトでは学生視点で北九州市の文化資源を点検・発掘し、それを組み合わせることで新しい魅力的なプログラムづくりを目指します。現地調査やヒアリング調査、担当教員とのディスカッションなど、協力連携しながら、新しい文化観光プログラムのプロデュースをしてみよう！

- ◆プロジェクト人数 5名程度
- ◆活動開始時期
2023年5月中旬(予定)
- ◆活動頻度
月1～2回程度
- ◆連携・受入団体
北九州市役所など(予定)
- ◆主な活動場所
北九州市立大学、北九州市内のミュージアム・観光施設・事業所等

地域活動プロジェクト紹介

KITAQ絆∞復興応援プロジェクト

北九州から食を通じて被災地とつながる！



東日本大震災をはじめとした震災の被災地復興支援と風化防止を目的として活動を行っています。地域の祭りやイベントに参加して、岩手県釜石市産のイカと小倉発祥の焼きうどんを掛け合わせた「絆焼きうどん」を販売し、その一部を義援金として寄付しています。また、震災を風化させず防災意識の向上のために、防災教室を開催しています。食を通じて人と地域、被災地とを繋げる活動を行っています。

◆プロジェクト人数

10名

◆活動開始時期

2011年4月～

◆活動頻度

毎週金曜日昼休み

◆連携・受入団体

お好み焼き いしん
一般社団法人Camp

◆主な活動場所

学内
お好み焼き いしん
一般社団法人Camp

「ブンガクの街北九州」発信プロジェクト

日常に文学を！



私たち「ブンガクの街北九州」発信プロジェクトは、「北九州市を「文学」の街としてブランディングする」というコンセプトのもと、北九州市を盛り上げるために活動しています。実は、北九州市にゆかりのある文豪や文学作品はたくさんあります。それらの魅力を多くの人に広め、地域の人と「文学」を通して交流することを目指し、北九州市文学サロンや北九州市立子ども図書館の協力のもと、日々活動しています。

◆プロジェクト人数

15名

◆活動開始時期

2015年11月～

◆活動頻度

週に1時間程度のミーティング、月に1回程度、週末にイベント等に参加

◆連携・受入団体

北九州文学サロン
北九州市立子ども図書館
北九州市役所

◆主な活動場所

学内、北九州文学サロン
北九州市立子ども図書館
小倉京町銀天街

国際交流プロジェクト FIVA

国際交流で広げる異文化理解の輪



私たちは「多文化共生」をテーマとして北九州市に住む外国人との交流を主な活動としたプロジェクトです。北九州YMCA日本語学院の留学生との日本語での交流、北九州国際技術開発協力協会(KITA)研修生との英語での交流を通して、日本や北九州市についてより深く知ったり、互いの文化に触れたりすることができます。同じ地域に暮らす留学生たちの抱える問題を解消するお手伝いをしながら、多文化共生社会の実現に向けた課題解決に取り組んでいます。

◆プロジェクト人数

49名

◆活動開始時期

2016年4月～

◆活動頻度

月に1日4～5時間程度の交流活動、毎週1回の定例ミーティング

◆連携・受入団体

北九州YMCA日本語学院
公益財団法人北九州国際技術開発協力協会 (KITA)

◆主な活動場所

北九州YMCA日本語学院
北九州市内及び近隣地域

平和の駅運動プロジェクト

戦争の記憶を風化させないために私たちができること



平和の駅運動プロジェクトは、戦争の記憶の風化とそれに伴った平和への意識の希薄化を問題と考え、若者を中心とした「戦争の記憶風化の防止」「平和の再考」を目標として活動しています。具体的には、北九州市内の学校での平和学習や、北九州市及び長崎市各地での小倉祇園太鼓演奏等、広く市民と平和を考える場を共有する活動を提供しています。

◆プロジェクト人数

3名

◆活動開始時期

2011年11月～

◆活動頻度

週1回のミーティング、不定期(月1回目安)で各地に出向いて平和学習

◆連携・受入団体

北九州市立西小倉小学校
北九州市立葛原小学校
長崎市立城山小学校
平和のまちミュージアム

◆主な活動場所

北九州市、長崎市

421Lab.わくわくキッズプロジェクト

「楽しく学べる遊び」を通じた特別な時間の提供を！



共働きやひとり親家庭が増加傾向にある中、子どもたちが楽しめるレクリエーションを開催し、放課後の居場所づくりとして安心できるような時間を提供することを目的として活動しています。また、子どもたちが楽しく遊べる学びを通じて、特別な時間を過ごしてもらうことを目的に、市内の企業や団体と連携しながら、子ども向け出張大工の定例開催、夏祭りやクリスマス会といった季節のイベント等を実施しています。

◆プロジェクト人数

11名

◆活動開始時期

2021年4月～

◆活動頻度

毎週水曜日の昼休み～3限に活動
月に1～2回ほど不定期でイベントに参加

◆連携・受入団体

大英産業株式会社
コラボラキャンパスネットワーク
プレイセンターハロハロ

◆主な活動場所

学内
幼稚園や小学校
商業施設

421Lab.英語で遊ぼうプロジェクト

英語と異文化理解を子どもたちと学ぶ



このプロジェクトでは、未就学児を対象とした英語と異文化理解に触れる活動を行っています。クリスマスやハロウィン等、季節のイベントに絡めた企画や、提携している団体の主催する夏祭りに、子どもたちが魚釣りやコマで遊べるブースの出店等も行っています。また、現在は英語や諸外国の文化を学ぶことのできる仕掛け絵本の作成に取り組んでいます。さらに、来年度からは他のプロジェクトとの協働企画も計画しています。

◆プロジェクト人数

11名

◆活動開始時期

2021年4月～

◆活動頻度

毎週月曜日の昼休みにミーティング
月に2回ほど子どもたちとの交流

◆連携・受入団体

コラボラキャンパスネットワーク

◆主な活動場所

学内

PROJECT 2023

青空学プロジェクト

「環境」から考える北九州市の今と未来



私たちは北九州市の環境問題について、学生の視点からアプローチを考え、実践することで解決への糸口を探る活動を行っています。今年度は「ごみ問題」に焦点を当て、リサイクルに適したごみ箱の製作を試みました。北九州市にとどまらず、地球全体の未来に目を向け、公害問題やSDGs達成等、環境の分野から物事を捉え、行動していくことを目的としています。

◆プロジェクト人数

11名

◆活動開始時期

2016年～

◆活動頻度

毎週水曜日昼休みに定例ミーティング

◆連携・受入団体

NPO法人里山を考える会

◆主な活動場所

学内
北九州市環境ミュージアム

防犯・防災プロジェクト(MATE's)

防犯・防災意識向上の“きっかけ”づくり



「北九州市を学生の視点から安全・安心なまちにしたい」。そんな思いから、私たちは防犯・防災という2つの分野で様々な活動に取り組んでいます。メンバー一人ひとりが、他人事ではなく自分事として「まちの安全・安心」について深く考え、話し合いながら、有事の際に最適な行動がとれるように、防犯・防災の視点から地域に入り、活動を通してコミュニティの活性化を図っています。

◆プロジェクト人数

31名

◆活動開始時期

2010年5月～

◆活動頻度

【ミーティング】
毎週水曜日昼休み

【勉強会】
第2・第4水曜日3限

【外部活動】月2～3回程度

◆連携・受入団体

NPO法人好きっチャ北九州
小倉南警察署
北九州市役所・小倉南区役所
NPO法人盗撮防犯ボランティアWc
(一社)法人九州防災パートナーズ
株式会社J:COM
ソフトバンク株式会社

◆主な活動場所

学内・北九州市の小学校
市民センター
ショッピングモール・朝倉市など

北九大もったいないプロジェクト

楽しく解決！北九大の“もったいない”



北九大もったいないプロジェクトは、学内から「もったいない」を減らし、なくしていくための活動をしています。SDGsの達成目標の中に含まれている「つくる責任 使う責任」に特に焦点を当てた活動で、環境問題に特化した活動を行なっています。学内に溢れている「もったいない」を解決していくために、メンバー同士で積極的に意見を出し合い、話し合いを重ね合いながら実践を通じた課題解決を行なっています。

◆プロジェクト人数

7名

◆活動開始時期

2022年4月～

◆活動頻度

週1回全体ミーティング
(2022年度は毎週木曜日)
空きコマ
夏休み(4日程度)

◆主な活動場所

学内

生理の貧困プロジェクト

生理を身近に、誰かのためになることを今しよう



私たちのプロジェクトは、生理の貧困解消に取り組んでいます。まず、生理を取り巻く課題を把握し、その解決に向けた活動内容を検討します。生理について、女性だけでなく全ての人にとって身近に感じてもらうことや、正しい情報を提供すること、生理に対してのマイナスイメージを払拭することも重要だと考えています。最終的にはこれらの活動を通じて、ジェンダー等のSDGsに関する取り組みも行いたいと思います。

◆プロジェクト人数

10名

◆活動開始時期

2022年4月～

◆活動頻度

月に1回ほど月曜日または木曜日の昼休みにミーティングを行っています。

◆連携・受入団体

特になし

◆主な活動場所

学内

子ども食堂応援プロジェクト

子どもたちが安心できる居場所づくりを



子ども食堂応援プロジェクトは、北九州市内の子ども食堂を拠点とし、子どもたちに勉強を教えたり、子どもたちと一緒に遊んだりしています。みんなでご飯を食べることで孤食を防ぐとともに、子どもたちが楽しく、安心して過ごすことができる第3の居場所づくりを目的としています。現在は、4つの子ども食堂と連携して活動を行っています。イベントの企画や運営を通じて、子どもと関わりながら成長することができるプロジェクトです！

◆プロジェクト人数

67名

◆活動開始時期

2016年9月～

◆活動頻度

《日明》第2、4週(水)17:00～
《城野》第3週(水)17:00～
《大里南》第1、3週(水)17:00～
《足立》第1週(火)17:00～

◆連携・受入団体

日明元気もりもりハウス
城野子ども食堂ハッピー
絆キッチン
足立ウチャヤマ子ども食堂

◆主な活動場所

北九州市立各市民センター
(日明・城野・大里南・足立)

桜丘小学校学習支援プロジェクト

実際の教育現場で子どもたちの学習をサポート！



小倉北区の桜丘小学校にて、児童の学習支援を行っています。主な活動は、各教室で行われている実際の授業に参加し、AT(アシスタント・ティーチャー)として、子どもの学習理解をサポートする役割を担っています。また、その他の活動として、特別支援学級での学習支援活動や、小学5年生を対象にした進路(高校・大学)に関する特別授業「キャリア教育」を開講しています。

◆プロジェクト人数

6名

◆活動開始時期

2017年4月～

◆活動頻度

月に9～10時間程度
※学生の授業スケジュールに合わせて活動日の調整を行い、それぞれの都合の良い曜日・時間帯に活動します。

◆連携・受入団体

北九州市立桜丘小学校

◆主な活動場所

北九州市立桜丘小学校



KITAQキャンパスSDGs

10年後の北九大をSDGsでより豊かに



私たちは学内のSDGs文化の醸成を目的に活動しています。「10年後の北九大はどうあるべきか?」「自身の大学や大学生活をどのようにしたいか?」という問いに、SDGsの観点を生かしながら、学生自らがアクションを起こすことを重要視しています。現在は、①統括広報班、②みず色PJ(学内に無料給水器を設置して利用促進を目指す活動)、③ねえねえ、話そう!PJ(キャリアや多様性理解について学生間で気軽に話していく活動)の3グループに分かれて活動しています。

◆プロジェクト人数

15名

◆活動開始時期

2022年4月~

◆活動頻度

月1回程度
グループごとにミーティングを行います。

◆連携・受入団体

株式会社タカギ
株式会社寿ホールディングス

◆主な活動場所

学内

地域クリーンアッププロジェクト

楽しくごみ拾い!



地域クリーンアッププロジェクトは「楽しさと繋がりを大切に、アットホームな存在で、人の想いを形にする」を理念として活動しています。主な活動は大学周辺のごみ拾い清掃ですが、ハロウィンやクリスマスの時期には、仮装しながらごみ拾いする等、楽しみながら清掃しています。また、ごみ拾い活動を続けることで、「街を汚すことはカッコ悪いことだ」という気持ちを広めることを目指しています。

◆プロジェクト人数

33名

◆活動開始時期

2015年4月~

◆活動頻度

毎月第2・第4水曜日
17時半から1時間程度ごみ拾い

◆連携・受入団体

NPO法人greenbird

◆主な活動場所

北九州市立北方市民センター

421Lab.いぬねこプロジェクト

ワンちゃん、ネコちゃんは我々が守る



私たちは「人と犬や猫がより良く共生できる環境」の実現を目的に活動しています。犬や猫の殺処分問題の解決に向けて行政やNPO等が様々な取り組みを行っていますが、依然として殺処分がなされている現実があります。この現状に私たちは「学生としてできるアプローチ」に重きを置き、連携・受入団体と一緒に犬や猫を取り巻く問題を考え、学び、発信するという活動を行っています。

◆プロジェクト人数

30名

◆活動開始時期

2015年11月~

◆活動頻度

・ドッグカフェ「KATANODA」でのお散歩ボランティア(毎日1時間程度、休日は除く)
・北九州市動物愛護センターへの訪問(月に1回)
・班別ミーティング(毎週火・木・金曜日の昼休み)
・全体会(不定期)

◆連携・受入団体

NPO法人ドッグセラピージャパン
北九州市動物愛護センター

◆主な活動場所

ドッグカフェ「KATANODA」
北九州市動物愛護センター

まち美化魅力向上プロジェクト Clear

「北九州ならではの」を活かして「魅力向上」へ!



私たちのプロジェクトは、北九州市の魅力を上向きさせることを目的としています。清掃や効果的なSNSの活用、地域交流の視点から、市民に魅力を感じてもらうための策を考え、挑戦しています。このプロジェクトの特徴は、地元企業の大きなサポートを得ながら活動している点です。今年度は、ミーティングに参加していただいたり、合同清掃を実施したりしました。コロナ禍の行動制限も緩和される中、活動の幅を広げていけるよう日々頑張っています。

◆プロジェクト人数

13名

◆活動開始時期

2020年4月~

◆活動頻度

月に8時間程度。
毎週火曜日のミーティング、清掃活動等

◆連携・受入団体

株式会社ミクニ

◆主な活動場所

421Lab.
三萩野バス停
神嶽川

TFT×KitaQ univ.プロジェクト

食事で世界を笑顔に!



私たちは「食」を通じた国際貢献を目的として活動しています。主な活動内容は、北方キャンパス内の学生食堂で開催されるTFTフェアで「TFTメニュー」を提供することです。また、学外の方とカフェを開いて自分たちが考案したメニューを販売する活動も行っています。活動で得た売り上げの一部は、発展途上国の子どものための給食代として役立てられています。「食を通じて自分たちにできることは何か?」と考えながら幅広い活動を行っています。

◆プロジェクト人数

16名

◆活動開始時期

2014年4月~

◆活動頻度

毎週木曜日の昼休みなどにメンバー全員でミーティングを行っています。イベントを予定している時はミーティング以外の時間でも活動を行います。

◆連携・受入団体

北九州市立大学生生活協同組合

◆主な活動場所

北方キャンパス学生食堂

『食』から学ぼうプロジェクト

楽しく食と健康の大切さを発信



私たちは、地域社会との繋がりを大切に、食と健康について自発的に学習し、その成果を地域住民の方々や同世代の学生に伝えています。今年度から「小倉南区公認KG-100アンバサダー」に就任し、小倉南区保健福祉課との連携事業として高血圧予防啓発イベントへの参加、志井校区の住民の方々との話し合い等に取り組んでいます。その他、学内外における調理実習やSNSでのお弁当作りの推進にも取り組んでいます。

◆プロジェクト人数

12名

◆活動開始時期

2016年4月~

◆活動頻度

月に5時間程度
・毎週1回休みにミーティングを行います。(今年度は毎週月曜日)
・月1回程度で企画やイベントを行います。(調理実習、高血圧予防啓発イベントへの参加など)

◆連携・受入団体

北九州市小倉南区役所保健福祉課

◆主な活動場所

421Lab.
北九州市立北方市民センター
北九州市立志井小学校